



きのうは、うまくいかなかった。  
きょうは、すこしできた。  
あすは、もっとできるようになるはず。

入社当初はなかなか作業の手順を覚えられなかった。  
手順書を作成してみた。  
繰り返し、繰り返し、怒らずに教え続けた。  
1年後には、見違えるほど正確に、  
手際良く仕事ができるようになっていた。  
今では現場の重要な戦力になっている。



人にはそれぞれ個性がある。  
障害もひとつの個性と考えて、  
その個性に合わせたやり方で、  
働きやすい環境を作っていけば、  
障害のある方だけでなく、  
みんなが働きやすい職場になるはず。

このガイドブックでは、  
そのヒントになる事例をいくつかご紹介します。

